

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 2 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【アフリカビジネスウーマンと政府職員の皆さんによる副市長表敬】

市内中小企業の事業提案が環境省の JCM 設備補助事業に採択

横浜市は、技術協力に関する覚書を交わしているタイ王国バンコクの行政機関や現地企業、横浜市内企業との間で、ビジネスマッチングを進めてきました。この取組により、市内中小企業が提案した、タイでの工場省エネ事業が、環境省が推進する二国間クレジット制度（JCM）の設備補助事業に採択されました。7月1日に採択された市内中小企業2社の提案に続き、3件目の採択となります。

採択を受けた事業は、これまでの横浜市による都市間協力やY-PORTセンターによる海外インフラビジネス形成の活動及び市内中小企業が提供するサービスの実績等が評価されたものと考えており、本事業の実施によって、省エネ機器等の導入施設における電力料金の低減や、日本の温室効果ガスの削減目標の達成等に貢献していきます。



(ビジネスマッチングの様子)

世界を目指す若者応援事業留学前ガイダンスを開催しました

横浜市では平成26年度から、「世界を目指す若者応援事業」として、国際社会を舞台に活躍を目指す市内在住・在学の高校生を対象とする海外留学支援事業を実施しています。

今年度は審査の結果、15の姉妹校等留学プログラムと12名の個人留学に対し、支援を行うことを決定しました。支援が決定した高校生の皆さんには、「横浜市を代表して留学する」という自覚と誇りを持って留学先で横浜の魅力をアピールしてもらうためのガイダンスを開催しました。

帰国後、留学先で横浜の魅力を自分の言葉で紹介したり、プレゼンテーションを行っていただき、報告書にその成果をまとめていただく予定です。



(ガイダンスの様子)

アフリカのビジネスウーマンが横浜を訪問しました

7月29日に、農業やファッション等の分野で活躍するアフリカ5か国のビジネスウーマン・政府職員の方が横浜を訪問しました。

今回訪問されたのは、第5回アフリカ開発会議横浜開催を機に横浜市とJICAの連携でスタートした研修事業「日・アフリカビジネスウーマン交流プログラム※」の参加者で、渡辺副市長と日本アフリカ友好横浜市議員連盟のメンバーが面会・歓迎するとともに、本市の女性起業家支援施策の紹介や市内女性起業家との交流を行いました。本市はJICAとの連携によりこのプログラムの実施に全面的に協力し、これまでアフリカの8か国から計47名を受け入れています。



※第5回アフリカ開発会議の際に日本政府が表明した具体的支援策の1つに「アフリカ女性のリーダーシップ、管理、起業における能力強化」があり、この実現のために立ち上げられたのが、本プログラムです。